

令和 7 年 7 月 25 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業  
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線 (UV) 領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) ワクチン・医薬品製造拠点の起工式を開催しました

2025 年 6 月 23 日、本学が J-PEAKS の重点拠点として整備を進める「ワクチン・医薬品製造拠点」の起工式が霞キャンパスで行われました。本拠点は、国内では難しいとされる治験薬の少量製造を可能とする施設であり、平時はバイオ医薬品を製造しますが、感染症パンデミック発生時にはワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース設備を有した拠点となります。竣工は 2026 年 9 月、2027 年の稼働を予定しています。



起工式の様子



完成予想図

(2) 令和 7 年度 「スマートバイオ創薬等研究支援事業」に採択されました。

本学小児科・岡田 賢 教授の研究課題 (※1) が、日本医療研究開発機構 (AMED) の「スマートバイオ創薬等研究支援事業」に採択されました。

本研究は、低血糖を主な症状とする遺伝性の難病 (※2) の治療を目的としており、J-PEAKS の連携大学である神戸大学 松尾雅文 名誉教授らとの共同研究を通じて見出された核酸医薬を用いて、難病の原因となる酵素の機能を回復さ

せ、低血糖の改善を図ることを目指しています。

(※1)

研究開発課題名：「新規高機能スプライシング制御オリゴヌクレオチドをもちいた糖原病 Ia 型本邦好発変異に対する新規治療法開発」

支援金額（総額）：約 4 億円

支援対象期間：約 4 年間

(※2) 本研究の対象とする糖原病 Ia は、グルコース 6-ホスファターゼという酵素の働きが欠損することによって生じ、全国で約 100 人の患者がいると推定されています。

#### **地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？**

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

#### **【お問い合わせ先】**

学術・社会連携室

未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略グループ 前田

TEL:082-424-5656

Mail:gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp